

広報資料

令和7年11月1日

和歌山東警察署

特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和7年11月1日（土）

2 発生日

令和7年11月1日（土）午後6時40分ころから午後7時56分ころまでの間

3 被害品

現金 800万円

4 被害者

和歌山市内居住の50代男性

5 状況

本日、被害者が職場でパソコンを使っていたところ、突然、画面上に「ウイルス警告。サポートが必要な場合、電話してください。」等という警告と電話番号が表示されたため、表示された番号に電話したところ、大手パソコン関連会社の社員を名乗る男が出て、「あなたのパソコンはハッカーによってウイルスに感染させられました。このままだと個人情報を盗まれて、預金を勝手に引き出されます。どんな金融機関の口座を持っていますか。ネットバンキングは使えますか。」等と言われました。

それで、被害者は、持っている銀行口座情報を相手に伝えたところ、「あなたの預金を守るために、私の言うとおりにネットバンキングを操作してください。」等と言われ、被害者は、その男の言葉を信じて、ネットバンキングを操作し、指示された口座に800万円を振り込みました。

お金を振り込んだ後、一方的に電話が切れてしまい、架け直しても繋がらなかったことから、詐欺だと気付き、警察に被害を届け出たものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

パソコン画面に突然「ウイルスに感染しました」等と警告画面が出た場合、サポート詐欺の可能性があります。表示された電話番号に連絡する前に、1人で判断せず、周囲の方に相談したり、ちょっと確認電話にて確認してください。